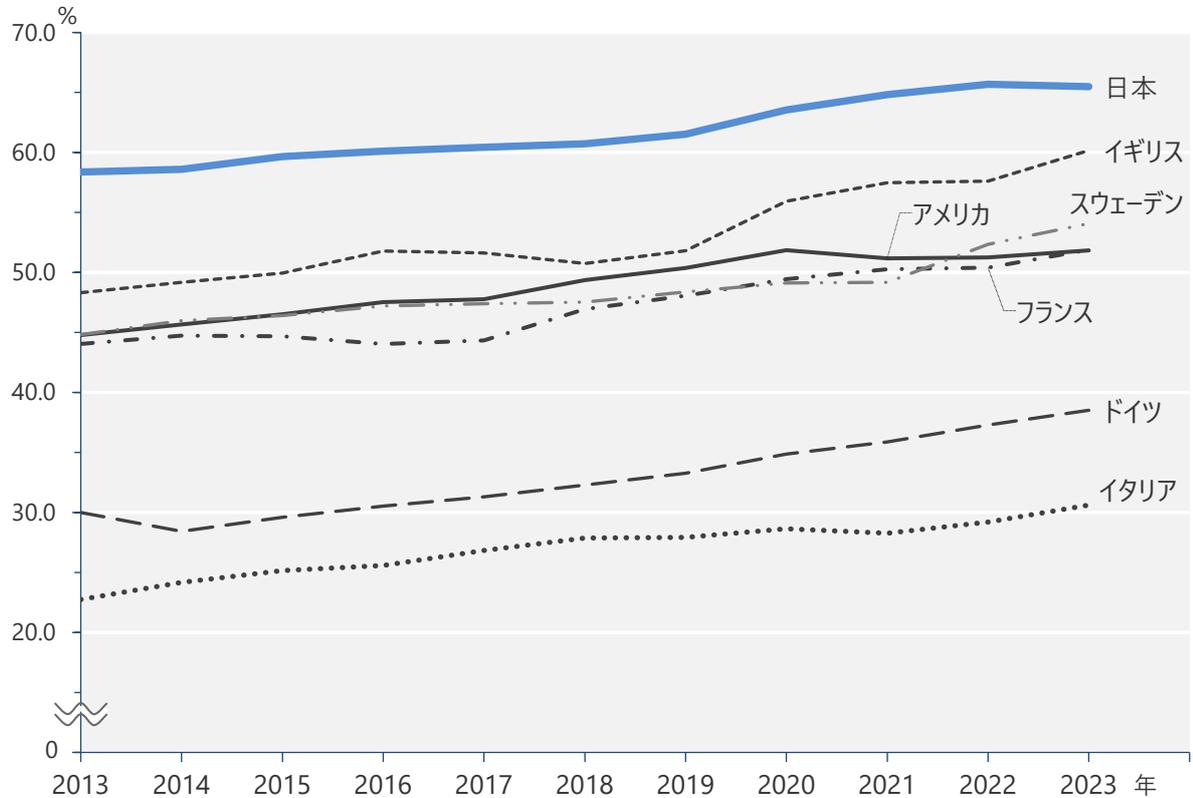


8-1 高等教育到達度



関連表 p.234 「第 8-1-1 表 高等教育到達度」

各国の教育制度や、その中での高等教育の位置づけは多様であり、このため高等教育への到達状況の比較には、注意を要する（p.236～242 「第8-2表 各国の学校系統図」参照）。

OECDが毎年発行する『Education at a Glance』は、各国の高等教育（日本では短期大学等から大学院の博士課程までに相当）への到達度を掲載している。上のグラフは、このうち25歳～34歳における到達の状況を示したものである。日本は65.5%、イギリスは60.2%、スウェーデンは54.1%などとなっており（いずれも2023年）、各国の到達度にはばらつきがみられる。また、長期的には上昇傾向にあるとされるものの、短期の増減が少なからずみられ、景気動向や制度的な変化など、多様な要因による影響が類推される。